



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.21
(通巻180号)
平成31年(2019)
2月1日(金)

『ワールド・ナンバーワン』

校長 飯野 博史

厳しい寒さが続いています。4日(月)は「立春」…春の足音が近づいてきています。先月末に1学年の横浜校外学習、2学年の職場体験が無事に終了しました。それぞれ大きな収穫がありました。

3年生は今、高校受験の真ただ中です。受験に際しての書類作成、手続き、日程管理なども自分の責任で行い、受験を通して一回り大きく成長してほしいと思います。応援しています。体調管理に留意し、全力で取り組んでください。

26日(土)夜、テニス全豪オープン決勝戦、テレビに釘付けになったご家庭も多かったのではないのでしょうか。大坂なおみ選手がチェコのペトラ・クビトバ選手を下し、優勝。昨年の全米に続くグランドスラム2大会連続優勝、世界ランキングで日本勢初の1位という偉業を成し遂げました。

第1セットは接戦を制したものの、第2セットはあと一歩のところ逆転負け、試合の流れはクビトバ選手に傾いていました。第2セットを終えたとき、ラケットでボールをコートにたたきつけ「なんでやねん」と悔しがると大坂選手、なんとなくいやなムードが漂いました。しかし、次のセットまでの短い時間に大坂選手は気持ちを切り替えました。

「やるしかない。後悔はしたくない。」今まで精神面の弱さを指摘されてきました。試合前に自分でも「精神面は3歳」と言うほどでした。

大坂選手は試合後のインタビューで「第3セットはなるべく感情的にならないようにした。冷静になろうとゲーム中に声を出さないようにした。」と述べていました。大きな試合を経験する中で、技術面だけでなく精神面も確実に成長していった様子がうかがえます。試合後に「今は5歳ね。」と笑顔で語っていた姿が印象的です。勝っても驕ることなく相手の選手を称え、謙虚に喜びを表す姿は感動的でした。

「ベストを尽くせば必ずよい局面がやってくる。」インタビューでの大坂選手の言葉です。最後まであきらめず、窮地に立ったときに冷静に自分を分析し、調整・適応していく力は素晴らしいと思いました。自分も見習いたいと思います。

試合後、早くも全仏オープンに向けて闘志をかき立てているようでした。まだ21歳、大坂選手の快進撃がどこまで続くのか、今後の活躍が楽しみです。

◎2月の主な行事予定

3日(日) 中学生「東京駅伝」大会	15日(金) 新入生保護者対象入学説明会
4日(月) 全校朝礼	18日(月) 生徒会朝礼
6日(水) カルタ大会(1年) 職員会議	20日(水) 職員会議
11日(月) 建国記念の日	22日(金) 校外学習(E組) 都立高校一般入試
13日(水) 小・中連携(二校研修会)	23日(土) ウィークエンドスクール
14日(木) 専門委員会	26日(火) ~28日(木) 後期期末考査
15日(金) 学校公開日、中央委員会	

◎生徒の活躍

・平成30年度目黒区教育委員会児童生徒表彰

文化・芸術・スポーツ面で、都・全国レベルで優秀な成績を収めた児童・生徒に贈られます。

〇〇〇〇さん 第46回バトントワーリング全国大会OPENバトン編成 出場
〇〇〇〇さん //

(今年度より同種目等での2年連続の受賞はなくなりました)

- ・第57回東京都中学校ロードレース大会 1/27
第3位 〇〇〇〇さん 男子1年 3km競走 10分39秒
- ・第52回東京都中学校アンサンブルコンテスト(東京都中学校吹奏楽連盟主催)
銀賞 管楽六重奏 吹奏楽部 1/26
- ・平成30年度目黒区青少年社会貢献表彰

吹奏楽部

受賞理由:「竹の子まつり」(大岡山東住区行事)をはじめ、他の地域行事に参加し、演奏を通して地域行事を盛り上げている。地域行事の活性化、中学校と地域との連携に寄与するだけでなく、公立中学校の良さを地域住民にアピールした。

◎みんなで考えよう 性教育⑨

12/20

特別授業「多様な性を考える」

特別非営利活動法人「ReBit」より、LGBTを自認する方を講師にお招きし、3学年で特別授業を行いました。演題は『多様な性ってなんだろう?~互いの違いを受け入れあえる社会を目指して~』で、「自分も含め、皆が多様な中の一人である」という理解を深めることをねらいとしました。お二人の講師が、生徒に親しみやすく、分かりやすくお話をしてくださいました。

生徒の感想文を紹介します。

- ・一人一人の「違い」を受け入れ、理解しようとする姿勢が大切だと思いました。人それぞれが違うということを忘れないようにしたいと思いました。もしこの先、LGBTのことなどカミングアウトされたら、まずは「自分を信頼して言ってくれてありがとう」と言いたいと思いました。皆が多様な中の一人ということも知ることができました。LGBTなどの理解を深め、今後差別のない世の中になってほしいと思います。そのために、さらに知識を増やしていきたいと思います。
- ・今まで何度かLGBTについて話を聞く機会でしたが、今日のお話を聞いてさらに理解が深まりました。自分の身の回りの人がカミングアウトを僕にしてくれたら、もし自分がセクシャルマイノリティだったらと考えると自分もこれからたくさん情報を知っておきたいと思いました。セクシャルマイノリティはただ少人数だけで差別されてしまっていたということを知り、これからの生活の中で少しでもそのようなことがなくなるように、自分にできることを考えて取り組んでいきたいです。
- ・男か女かの2パターンだけで性は限られないことを学びました。身近にいないあではなく、自分が見ていないだけ、気付いていないだけなので、どんな人でも生活しやすい環境づくりや信頼できる人間になれるよう心掛けていきたい。何度か学校でLGBTの授業をしたり、杉山文野さんのお話を聞いたりしたことがありますが、今回初めてパンセクシュアルという性があるのを知り、本当に性は多様ななと感じました。多様な性を一つ一つ覚えることは無理だけど、理解することを大切にしていきたい。